

令和2年第2回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--------------|--------|
| 1 | 開会日時 | 令和2年2月19日(水) | 14時00分 |
| 2 | 閉会日時 | 同日 | 14時55分 |
| 3 | 開催場所 | 加西市役所 5階大会議室 | |
| 4 | 出席者 | 教育長職務代理者 | 沼澤 郁美 |
| | | 委員 | 楠田 初美 |
| | | 委員 | 中川 和之 |
| | | 委員 | 深田 英世 |

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

| | |
|---------------|---------|
| 教育部長 | 本 玉 義 人 |
| 教育総務課長 | 今 西 利 夫 |
| 学校教育課長 | 安 富 重 則 |
| こども未来課長 | 伊 藤 勝 |
| 生涯学習課長 | 森 幸 三 |
| 図書館長 | 菅 野 広 美 |
| 総合教育センター所長 | 常 峰 修 一 |
| 生涯学習課主幹 | 永 井 信 弘 |
| こども未来課主幹 | 周 夕 美 |
| 教育総務課長補佐兼総務係長 | 松 田 ちあき |

兼松教育長が欠席につき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規程に基づき、沼澤教育委員が職務代理者として、会議の進行を行った。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

6 付議事項

議案第3号 令和2年度加西市公立学校の管理職人事内申について

議案第4号 加西市立認定こども園移管先事業者選考委員について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

教育長職務代理者より、本日の付議事項は、いずれも人事案件であるため、加西市教育委員会会議規則第15条第1項ただし書きの規程に基づき、非公開とすることを

諮り、出席者（4名）の全会一致で承認を得る。

会議の進行上、先に報告事項を行い、付議事項は、休憩をはさんだ後に非公開で審議する。

8 報告事項

こども未来課長

第2期加西市子ども・子育て支援事業計画（案）について説明する。

「第2期加西市子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て支援法第61条に基づき、加西市が取り組むべき「質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供」と「地域の子育て支援の充実」をめざすための計画である。

平成30年10月から令和2年2月まで、計5回の加西市子ども・子育て会議で計画の審議を行い、3月議会に上程している。

計画の内容については、令和2年から令和6年までの5カ年を計画期間とし、「安心して子どもを生み育てられる加西市づくり」を基本理念に掲げ、すべての子どもが等しく質の高い教育・保育を受けられる環境を実現するため、妊娠期から安心して子育てができる「切れ目ない支援」を行い、保育サービスの計画的な整備と待機児童の解消など、加西市の特性に応じた子育て支援策を計画的に進めることをめざしている。

教育委員からの質問およびこども未来課長の回答

・P3の（3）パブリックコメントについて、5件のご意見が出ていたが、それについての回答は誰が行ったのか。課長が回答されたのであれば、どなたか女性にも相談をされて回答されたのか。

（回答）課内で回答を取りまとめて、教育委員会内で決裁を取り、回答した。

・あのご意見は、どこへ上がっていくのか。市長まで上がるのか。

（回答）頂いたご意見はとても貴重なもので、子ども子育て計画を策定した会議の中でも披露させて頂いた。またHPでも、意見と回答を報告している。頂いたパブリックコメントのご意見は、大きな内容を包括するものとなっているので、この策定会議の中においても、計画に反映していけるように、会議の答申という形で、まとめている。最後の方に答申書があり、例えば「安心できる子育てには出産できる病院が必要であり、分娩受け入れの改善に向けて取り組むこと」あるいは、「待機児童の解消」について、答申書の中で改めてまとめており、確認している。

・この令和6年までの事業計画には多額の予算が入っていると思うが、形だけにと

られず、こういった貴重なご意見を実現することによって加西市も変わっていくと考える。ぜひとも頂いたご意見を大事にして、HPにそのご意見に対する具体的な取り組みを載せていただけたらと思う。そうしないと次の意見が出てこないだろうし、何を言っても何もしてもらえないと若い人達が愕然としてしまうと思う。今と私たち世代では子育てが違うので、子育てについては若い人に聞いて頂いて、女性や若い方の意見も吸い上げながら、具体的に進めて頂けたら、加西市ももっと良くなると考える。よろしくお願ひしたい。

(回答) まさしくそういった内容のご意見もあったので、しっかり若い方の意見も聞きながら進めていきたいと考えている。

・就学前児童の保護者と小学生の保護者へのアンケートの質問内容についてであるが、例えば就学前の方には保育施設とか、小学生の保護者には学校を中心にという分け方なのか。それとも小学生についても幼保施設の経験者でもあるので、そういうことも含めて質問されたのかを教えてください。

(回答) 小学生の保護者と就学前児童の保護者には、それぞれは別々の項目で設定している。

・要望であるが、これだけきめ細かな内容でコメントを頂いて、提案なり意見を頂いているので、学校の先生方や学童の指導員の方、保護者に周知というか共通理解の上でしていただきたい。

生涯学習課長

優良公民館表彰（善防公民館）について説明する。

優良公民館表彰は、文部科学省が、全国の公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められる館を優良公民館として、毎年、表彰しているものである。今年度は、9月に兵庫県教育委員会を通じて文科省に推薦をもらい、表彰に至ったもので、2月14日に、館長が文科省に出向き、表彰状を受けた。

全国で公民館は約14,000館、兵庫県内では336館ある中で、今年度は全国で75館、兵庫県内では2館、善防公民館と伊丹市の公民館が表彰を受けた。

善防公民館の取り組みは、「なつかしの正月遊び」事業をメインに取り上げ、地域団体との連携・協働の取り組み、多世代交流を図る取り組み、伝統文化を継承する取り組みであることなどが、評価されたと考える。今後、市広報やプレスリリースで周知を図る。

教育委員からの質問および生涯学習課長の回答

・この優良公民館表彰の受賞は加西市では善防公民館が初めてであるのか。
(回答)平成 27 年度に北部公民館、平成 29 年度に南部公民館がそれぞれ表彰を受けており、今回の善防公民館で加西市では 3 館目の表彰となる。

・表彰を受ける要件、基準はあるのか。
(回答)優良公民館表彰要綱が定められており、学習内容やその取り組み手法、学習環境の整備に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していることが基準であり、県教育委員会と相談しながら推薦をしてもらった。

・善防公民館は特にどこが評価されたのか。
(回答)地域団体との連携・協働の取り組み、多世代交流を図る取り組み、伝統文化を継承する取り組みを行っている 3 点が評価されたと考える。

・北部公民館の場合は、どこが評価されたのか。
(回答)北部公民館は、主催講座で「障がい者教育」を実施しており、全国的に公民館での取り組みとしては、非常に先進的であることが評価され、表彰されている。加西市の各公民館の活動は、県内でも講座数が多く、学習活動も充実して頑張っていると自負している。

・他の県の公民館の取組を知らないなので、一度見てみたいと思うとの教育委員からの意見があった。

総合教育センター所長

令和元年度教職員研修講座について説明する。

教職員の資質・能力等を総合的に向上させるために、35コース43講座を開設した。教育に関する今日的課題や教職員のキャリアステージに応じた課題に対応して、また昨年度末の「研修講座に係る教職員アンケート」の結果をもとに、表にまとめたような研修講座を実施した。

本年度は特に新学習指導要領実施に対応した講座の充実を図った。

1つめは、小学校外国語活動実施に向け「小学校英語研修講座」を2年間での小学校教職員の悉皆研修講座として新設した。

2つめは、道徳の教科化に対応して「道徳授業実践講座」「小学校道徳授業力向上実践講座」を実施し、さらにそのフォロー研修として授業実践の特別講座を4回設けた。

3つめは、「プログラミング教育研修講座」を開設した。

また、学校教育課と連携して「学力向上授業実践講座」「かさい学力向上セミナー」を実施し、学力向上に向けた授業づくり研修の充実にも努めた。

本年度は延べ 1,234 名の参加があり、参加者の講座評価は 5 段階評価で平均 4.66 であった。

来年度も教職員が参加したいと思う魅力ある講座をめざして、リサーチを十分に行い、準備を進めていきたい。また、開設する講座の内容については、教職員に丁寧に広報していきたいと考えている。そして、開設にあたっては、市内 16 校の行事日程等を鑑みながら、教職員の働き方改革を阻害することなく、調整を図っていきたいと考えている。

次に、令和 2 年度青少年健全育成カレンダー、クリアファイルの配布について説明する。

いじめ防止啓発のため、ポスター・標語の優秀作品を掲載したカレンダーとクリアファイルを作成した。カレンダーについては市内公民館をはじめ、加西市施設や関係機関、各町公会堂等に配布し、市民総がかりでいじめ防止に取り組めるよう啓発に努めている。また、クリアファイルは、市内全児童生徒に従来配布していたカレンダーに換えて、できるだけ日々身近で目に触れることができるようにと、今年度から作成を始めた。クリアファイルは本日、全児童生徒に配布し、カレンダーについては 3 月上旬頃には配布予定。なお新小学 1 年生にも入学後配布を予定している。

教育委員からの質問および総合教育センター所長の回答

・特別講座について質問したい。他の講座と比較すると、特別講座の「道徳授業実践」の参加人数が少ないと思うのだが、定員や受講資格があるのか。また特別講座とは、どのようなものであるのか。

(回答) 基本的には定員はない。他の講座は対象とする教職員を定めているものや希望者も含めたものであるのに対し、人権推進課や各学校の校内研修とコラボレーションして実施しているものがあるので、「特別講座」と名付けている。

道徳授業実践講座は、希望制ではあるが、センターの指導主事が講師となり、資料の読解から発問についてなど道徳授業の作り方などを少人数できめ細やかにやっているものである。

・4月から始まる新学習指導要領のもと、プログラミング教育の研修内容は、どのように進めていくのか。

(回答) 今年度の研修講座は、スクラッチという iPad を用いたプログラミング教育の入門編のような研修を行った。指令を組み合わせてキャラクターの動きづくりをする中で、物事を論理的に組み立てる力を身につけるものである。中学校においては、技術科において既にこのような内容を学習している。小学校もこれからこういった論理的思考

力や判断力などを育成する内容が各教科の中に盛り込まれて学習することになる。

- ・ 1 回目の教育講演会以外でも、研修講座に教育委員も自由に参加できるのか。
(回答) 教職員対象となっているが、事前に連絡を頂けるとありがたい。

教育委員からは、教職員の研修は大切なもので、丁寧にリサーチをしながら、プラス講師の先生の日程調整であるとか、他本当にご苦労頂いていると思う。教職員の働き方改革等様々な課題がある中で、これだけ充実した講座数をきちっとさせているのは大切なことであり、加西の教育は、こういう研修の下支えがあって充実したものになっていると思うので、引き続きお願いしたいとの要望があった。

9 協議事項

なし

10 教育委員の提案

・プログラミング教育のことについてであるが、12月19日に文科省の方から、GIGAスクール構想が出されたと思うが、4月から教職員をはじめ、子ども達もプログラミングなどの新しいことを始めるとなると、戸惑う部分もあり、教職員の働き方改革と言われる中で、また勤務時間が増えていくのではないかという心配をしている。市としては新学習指導要領が始まるにあたり、例えば授業のカリキュラムとかこの教科書を使ってやっていくという、具体的な計画や案などがあれば教えて頂きたい。

また、新学習指導要領が4月から始まるという事で、学校訪問の際に、実際にプログラミング教育や小学校の英語教育なども見学をさせて頂きたい。

(学校教育課長の回答) 新学習指導要領の実施については、来年度から始まるといっても、それまでから計画として決まっていたので、特に小学校英語、道徳の教科化に向けて2・3年前から準備を進めてきた。教職員が、子ども達に適切な指導ができるようにするという事で、総合教育センターで研修講座を開設してきた。

道徳は多くの先生方への一斉に研修するというよりは、個別にきめ細かく指導するために、指導主事が、学校へ出向いて行って研修を開いたりもしている。

市指定研究会も小学校英語の教科化を見越した上で、賀茂小学校から始まり、宇仁小学校、次は泉小学校というように、先取りをしながら研究するような体制で行っている。

教科書についても、4月から一斉に指導が始まるため、例えば、各校で採択された教科書の発行者に来てもらい、研修をするなどしている。指導が滞らないように、着実に、各学校、市教委の方で準備を進めている。

あわせて、教職員の働き方ということで、授業時数の確保も行いながら、行事の精選を校長会でも抜本的に見直して頂いているところであるので、結論が出たものは後日報告する。今まで何十回と続いてきた行事が当たり前が続いていくのではなくて、改善あるいは削減、あるいは違う行事に変える等の計画を校長会中心に検討しているところである。

教育委員の計画訪問であるが、時間割通りに授業公開をしてもらうのではなく、学校ごとの特色ある取組を見せて欲しいと要望している。その中で、英語は ALT の配置日が決まっているので、以前からもご要望がありながら、お応えできなかったところもある。できるだけ学校へ要望していきたいと考えている。プログラミング教育やパソコンを使った授業は、GIGA スクール構想によって4年生から6年生に一人一台のパソコンが導入される。授業で見ていただくことができれば、ご意見を頂けたらと思う。

・教育委員からは、学校訪問をいつもさせて頂いて、大変勉強になるのだが、堅苦しい形ばかりではなく、自然体の学校の姿が見たい。地元の学校はオープンスクールの案内が来るが、他の学校も含め全体を通して年間の予定が決まれば、教えて頂きたいとの要望があった。

・予算トピックスを見せて頂いた。来年度に向けてどういうことに力を入れていかないといけないかということが、ここに如実に表れているように思う。

学校教育課長からもあった GIGA スクール構想、情報化教育やプログラミング教育も大切だと思うが、教師より子どもの方がよく知っている場面もあり、逆に大変だろうと思うが、有効活用していくのも大切だと思う。スクールサポーター事業については去年よりもかなり予算を充実させて頂いて、支援が必要な子どもがたくさんいる中で、それぞれに個に応じた支援をできる体制が、予算面からも付けて頂いているということがよく分かるので、きちんと展開されるようお願いしたいとの要望があった。

1 1 今後の予定について

- ・第3回定例教育委員会 3月27日（金）14:00～1F 多目的ホール
- ・第4回定例教育委員会 4月22日（水）16:00～1F 多目的ホール

1 2 その他

・12月の提案で給食費の公会計化の話をし、議事録には、1月か2月頃に調整していくように書いてあったが、その後の進捗状況はどうなっているのか。

(教育総務課長の回答) 人事に、人員要求を出しているが、実際に人が付くことになるかどうかは、3月の末にならないと分からない状況ではある。また業者についても今いろいろと検討しているところであり、先日も1件、公会計化に携わっている業者の方に来て頂き、話を伺った。そういった形で徐々に進みつつあるという状況である。

1.3 質問及び討論の内容

議案第3号 令和2年度加西市公立学校の管理職人事内申について

教育部長より、令和2年度学校管理職組織他について説明する。

議案第4号 加西市立認定こども園移管先事業者選考委員について

こども未来課長より、加西市立認定こども園移管先事業者選考委員について説明する。

1.4 議決事項

議案第3号 令和2年度加西市公立学校の管理職人事内申について

原案通り可決

議案第4号 加西市立認定こども園移管先事業者選考委員について

原案通り可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和2年2月19日

出席者

(出席者署名)